

北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会（第3回） に社会実装関係者として参画



北陸情報通信協議会G空間×ICTまちづくり推進部会（部会長：飯島泰裕金沢大学客員教授）は、令和5年8月28日（月）に、北陸総合通信局の会議室とオンラインによるハイブリッドで開催された、北陸総合通信局が事務局の「第3回北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会」に社会実装関係者として参画しました。

当会合は、北陸地域における「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、5G等の通信基盤整備に資するため、地方公共団体、通信事業者等との間において、地域におけるデジタル実装と通信基盤整備のマッチング等を推進を目的としており、G空間部会は同協議会の社会実装関係者として参画しています。



飯島部会長 オンラインで参加

会場内の模様



正面 大藪副部会長（左） 菱田北陸総合通信局長（右）

質疑・意見交換では、飯島部会長から5G等整備要望エリアの黒部宇奈月キャニオンルートについて電力会社との調整状況とFTTH公設設備の民設移行に伴う懸念点について、（一財）移動無線センターの山田様から海底ケーブルの日本海側ルートの整備予定時期等についてご発言されました。当会合にはG空間部会からオンライン参加を含め16名が参加しました。